

月間報告書 2021年10月分

学籍番号 留学先 ペルージャ外国人大学
 氏名 留学期間 2021/08/01~2022/09/19
 年次 4年次 留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	IntermediodiprimalivelloDilinguaculturaitalianalivello(B1)competenza linguistiche di base	イタリア語文法	1680	授業
2	IntermediodiprimalivelloDilinguaculturaitalianalivello(B1)sviluppo delle abilità	イタリア語演習	960	授業
3	IntermediodiprimalivelloDilinguaculturaitalianalivello(B1)pronuncia e grafia	イタリア語発音	240	授業

II. 授業内容

No. 1

コースはA2.2。私は最初の1週間だけA2を受けて先生に頼んで途中でB1.1に変えてもらった。A2は簡単、というわけではなかったが折角オンライン留学するなら厳しい環境に身を置きたいと思ったのだ。レベルが一つ変わると難易度がどれだけ変わるのか不安だったが、勉強する内容は少し難しくなる程度。ただクラスメイトのレベルが高くなった。A2で私が中の上だったとしたらB1では下の上といったところだ。教科書はA2ではNUOVO CONTATTO A2。B1はわからない。ただ先生が毎回ページをチャットに流してくれるし画面共有してくれるのでみんなそれを見ている。教科書は買ってない。最初に先週何したかななどの軽い雑談があってから教科書の本文を読み、意味を確認してから設問に答える。その文に今勉強している文法を使ったフレーズが入っていて、条件法なら「もし生まれ変わるなら何になりたい?」といった質問が飛んでくる。日本ではいつも質問の答えを準備してから答えていたのでこれには最初戸惑った。又、Agenzia turisticaをイタリア語で説明しろとかguida turisticaを説明しろとか聞かれたときは自分のボキャブラリーの少なさを実感した。A2で勉強したのは過去形、再帰動詞。B1では半過去、

これを読んでいる人の知りたいこととして「で、語学力上がったの?」ということがあげられると思う。しかし残念ながら今の私は判断材料になりえる何の資格も検定も取れていない。二年の秋学期に実用イタリア語検定3級をあと一点で落ちただけである。現在の目標としては留学終了まで(?)にイタ検準2級を取る。本当は二級、と言いたいところだが一年二年と勉強を怠った怠惰な生活の結果なので今は目の前のできることをやってみようと思う。また私は卒業までにTOEIC850と世界遺産検定1級という目標があるので今はオンライン授業と並行してその勉強もしている。今はインターンも複数Daysと1Dayのものど何個か参加しているので本当に毎日やるが多すぎて時間が足りない。できるだけ後輩の参考になるように具体的に書いたつもりだ。これからもこのボリュームで書けるか分からないができるだけ濃い時間を過ごせるように頑張ろうと思う

No. 2

正直あまり文法と演習の授業でやることは変わらない。一度いつもの先生が休んで代理の先生が来て物語作りゲーム、のようなことをした。funghi(キノコ), gioiello(宝石), pentola magica(魔法の鍋)など適当な単語20個が与えられ、その単語を全部使ってオリジナル赤ずきん(Cappuccetto Rosso)の話を作ろうというものだった。1人1シーンづつ作って行って、結局赤ずきんが狐師と結婚して魔法の鍋で狼を退治する話になった

No. 3

イタリア語のアクセントの位置、イントネーション(疑問文なら語尾を上げる等)、successo, coppia等同じ文字を重ねる単語について勉強した。10月でこの授業をすっかりやったのは一度だけだった。Lo1(京都外大というmanaba)にて文章を読んだ声を録音して提出する宿題があった。

III. 生活編

既に留学の申し込みをする際にレベルの希望は出していたが、授業が始まる1ヶ月程前にブレイスメントテストの案内が来た。私ははっきり筆記だと思っていたがリンクで飛ばされたのはチームズ。いつからイタリア語を勉強しているか、何ヶ月このコースを続けるか、等簡単な質問が2、3あって4分程で面接は終わった。私は「Studio italiano da 2 ore」と言っしまい、「anni!」と先生に直されてしまった笑。結局クラスは元の希望通りA2になっていたがそれが面接の結果が反映されたものなのかは分からない。同じくらいの時期に毎年京都外大からの留学生をサポートして下さる東城先生とオンラインで顔合わせをした。他の先輩方が月間報告書に書いていたとおりとても親切な先生だった。これから毎月一回ミーティングをして、心配事や困ったことがないか聞いてくれるそうだ。サポート体制がかなりしっかりしていて安心した。ちなみに現在ペルージャには一人、東京外大の交換留学生で10月から半年間対面留学する人がいるそうだ。10月4日、ついにペルージャのオンライン授業が始まった。メールで届いていたアドレスでTeamsにログインすると既に10月のチームに登録されていた。コースが1ヶ月ごとなので月ごとにチームが作られるのだと思う。メールには外大というウェブキャンパスのリンクやLo1(manabaのほうなもの)のリンクがまとめて貼ってあった。スケジュールもウェブキャンパスから確認する。授業は週5。月、木は3時間、後の平日は2時間勉強する。始まる時間は一律で日本時間16時〜だ。クラスは9人でトルコ、イラン、スペイン、日本、中国、韓国人の生徒がいた。本来は20人や30人の授業らしい。アジアはみんな大学生だったがそれ以外の人は趣味で勉強してる大人とかオーケストラの指揮者とか仕事辞めてイタリアの大学で英語で授業受ける人とか様々だった。カメラはオンでもオフでもよいがオフだと授業中に一度くらいしか当ててもらえないのでほとんどみんなオン。日本のように出席番号順で当てられるわけではなく、先生の気まぐれで同じ人が何度も当たったりする(積極的な人が当たりやすい)。授業中に分からない言葉があったらノートにメモしているのだが終始書く手は止まらない。電子辞書を打つスピードは確実に早くなった。折角オンラインなので時間を有効に使おうと思い、定期を買って月の途中から学校に行き始めた。部活に行ったり、今学期からNINJA「Have a Chat」が再開されたので週二回、英語とイタリア語を予約してだけがちな自分を動かす口実になっている。今までイタリア人の先生以外と話したことがなかったので本当に自分のイタリア語が通じるのか不安だったが話してみるととても楽しかった。授業とは違い、こちらが質問しなければならぬしいちいち文法の間違いを気にして話を中断できないが「イタリア語の会話とはこういうことなのか」と学ばせて頂いている。毎日2,3時間イタリア語の授業を受けてるだけあってか日本にいてもかなり頭の中のイタリア語が占める割合は高くなったと思う。音楽も見るアニメもイタリア語にしている。アニメにおいてはアマゾンプライムでアメリカの子供向けアニメをイタリア語で見ている。同じくアマブラで「LOL: HITOSHI MATSUMOTO Presents ドキュメンタル〜イタリア版〜」というコメディ番組があるのだがこれはかなり面白かった

月間報告書 2021年11月分

学籍番号 留学先 ペルージャ外国人大学
 氏名 留学期間 2021/08/01~2022/09/19
 年次 4年次 留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	Intermedioprincipali di lingua e cultura italiana livello (b1) competenza linguistiche di base	イタリア語文法	1680	授業
2	Intermedioprincipali di lingua e cultura italiana livello (b1) sviluppo delle abilità	イタリア語演習	960	授業
3	Intermedioprincipali di lingua e cultura italiana livello (b1) pronuncia e grafia	イタリア語発音	240	授業

II. 授業内容

No. 1

コースはB1.2。勉強したのは接続法、関係代名詞、動詞とセットの前置詞、ce, ne等だ。教科書に沿って問題を解いたり「理想の恋人は?」「健康に生きるには?」「友情とは?」などの問いに順に答えていったりした。自分の町の紹介もした。「結婚式」というお題で自分の国の結婚式がどんな独特なことをするのかを聞かれ、うまく説明できず落ち込んだ。他の学生が普通の会話でも接続法を使っていたので自分も意識して使うようにした。

No. 2

先月とは違う先生だった。副反応が怖いからワクチンは打たず、自宅からでもできるオンラインのクラスのみ受け持っているらしい。時々ロールプレイングのようなものをした。私が恋の悩みを持っていて親友の中国人(という設定)に相談するというシチュエーションだ。彼女に思いはさっさと伝えた方がいいと言われ私の想い人(設定)のアルゼンチン人に告白した。結局返事はYesで彼は今の恋人と別れて私と付き合うことに決めたらしい(笑)

No. 3

最初に音声聞いてそこで聞こえた表現を穴埋めする。様々なイタリア語表現を学ぶ

III. 生活編

クラスは先月に引き続き受講が中国3人日本1人、そしてアルゼンチンとブラジル、中国人の人が新たに加わり7人だった。ブラジルの人はイタリア人と結婚して3か月の子供がいた。すごくかわいかった。その人は子供をあやしながら授業に参加していたので発言している途中に赤ちゃんの泣き声がしょっちゅう入っていた。アルゼンチンの人は朝5時に授業を受けているということで、時々授業に参加しない(寝坊)することがあった。いつも授業中にマテ茶を飲んでた。授業で文化の比較の話題になると私は必ず当てられ(クラスで日本人が一人なので)、日本の働き方や祝日について話した。「In Giappone..」がもはや口癖になってしまっそうだ。しかしそれによって比較文化という観点から日本を考えたり調べたりする機会が多くなった。大阪の人口は約880万人で約300万のローマとは二倍以上の差があること、京都の寺社が約2500あり、日本全国では約16万ものぼるということを知った(これには先生も驚いていた)。この授業ではイタリア語だけでなく日本についても学ばせて頂いているなあとしみじみ思う。月の後半になってくると以前よりイタリア語を話すのを楽しめるようになった。先月はオールイタリア語の授業についていくので必死で毎日疲労がすごかったが今はもう少しリラックスして受けられるようになったと思う。学校でのイタリア人留学生との会話でもだんだん意思を伝えられるようになっていっているのが分かって今イタリア語を話すのがとても楽しい。私のイタリア語学習における青春の到来かな? CELIが京都で受けられると聞いてB1を受けてみた。受験者は私以外にA1が一人、C1が一人の合計三人だった。あまり準備が満足にできなかったわりには解けた方だと思うがどうだろうか。面接はとても楽しく話すことができた。結果は一月くらいで出るかもしれないしもっとかかるかもしれないらしい。気長に待とうと思う

月間報告書 2021年12月分

学籍番号 留学先 ペルージャ外国人大学
 氏名 留学期間 2021/08/01~2022/09/19
 年次 4年次 留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	Intermedioprimolivello dilinguae culturaitaliana livello (b1) competenza linguistiche di base	イタリア語文法	1260	授業
2	Intermedioprimolivello dilinguae culturaitaliana livello (b1) sviluppo delle abilità	イタリア語演習	240	授業
3	Intermedioprimolivello dilinguae culturaitaliana livello (b1) pronuncia e grafia	イタリア語発音	180	授業

II. 授業内容

No. 1

コースはB1.3。勉強したのは条件法、接続法、先立未来だ。毎度のように先生が共有してくれる画像を見ながら受ける。人物のプロフィールを見て文法を使い分けながら経歴を説明したり、会話を聞いたり長文を読んで質問に答えたりした。

No. 2

ペルージャの近くの小さな町に住んでいるという男の先生だった。新しく習った表現などをチャットに残してくれるが、パソコンに慣れていないのか打つのがすごく遅く、何度も謎の時間が生まれた。女の人のある一日を表した絵を見ながら説明したり、コロナ前後で何が変わったかなどを話した。

No. 3

文法と同じ先生が担当だった。音声聞いて様々な表現を学ぶ。

III. 生活編

クラスは日本、オーストラリア、オランダ、リビアが1人ずつと中国が2人の6人。ボローニャ大学に留学しながらイタリア語を勉強している人や、家族でイタリアに引っ越して電気屋してる人がいた。12月は今までの月に比べてイタリア語がすごく上手だったり、積極的に話す人が少なかった。即ち私と同じくらいのレベルの人が多かったので私の発言回数もかなり増えた。オンライン授業は1か月のみ受ける人が大半なので、私のように三か月もいるともう古株扱いだ。中国人2人とリビアの人はほとんどカメラ・マイクオフだったので実質3人で授業をしていた。月の終わりにB1の三か月コースの締めくくりとして会話テストをした。内容はいつもの月末のテストとあまり変わらなかった。楽しい、悲しい、怒った、などの感情を表す画像を見せられ、そのような感情をどんな時に抱いたかエピソードを話す。私は映画「アナと雪の女王」を初めて見た時、最後に近いシーンで目が潤んだという話をした。イタリア語版の題名を知らなかったので雪の魔法を使う女王の話だ、と説明したが伝わっていたのかは分からない。最後の授業日に「30点満点中26点だったよ」と伝えられた。コース終わりのテストだけ点数がつくのか、？ちなみにもう一人、私と同じテストを受けた中国人の人も26点だったのでどのくらいちゃんと点をつけているのかは分からない。月の前半はひたすら世界遺産検定の勉強をしていた。12日が受験日だったから。ペルージャの授業以外の時間はずっと分厚いテキストとにらめっこしていた。単語を覚えようとしてもきりがないので遺産名を見て内容や他の遺産とのつながりを答える練習をした。勉強とはいえかなり楽しかった。コロナが収まったら行きたいところが沢山ある。本番では山を張っていたところが出題され、嬉しかった。イタリアへのビザが必要となる住居の証明を取るために、去年ペルージャに留学していた先輩に大家さんを紹介してもらった。先に一か月分の家賃を払ってもらわなければならないが(敷金のようなもの)どのように振り込んでもらうか会計士と話し合う、と返信が来たとき二週間何も言われなかった。どうなったか聞くと、会計士のミスで私が入るはずだった家はもう埋まっていると言われた。別の家の持ち主と今掛け合っているが今はクリスマスシーズンなので年が明けないと向こうが返信してくれないとのこと。かなり振り回されている(笑) イタリア人相手では向こうが動いてくれるのを待っていてはいけないと学んだ。果たして無事にビザが取れるのか、それが不安だ。12月の始めに部活の友達に正月の巫女のアルバイトをやってみたいと言っていたので、楽しそうだと思い私も一緒にネットで探してみた。有名な神社は10月末で締め切りというところが多かったが運よく嵐山の近くの神社で巫女の募集が出ていた。二人で応募し、面接を経てどちらも採用された。勤務は12月31日~1月5日で、12月31日から1月1日の間は神社に泊まり込みだった。お守りやおみくじを売る。大晦日の京都は雪が降っていて巫女服ではかなり寒かったが神社の裏側を見れたり、初詣を迎える側に立つという非常に貴重な経験をさせて頂いた。また、一緒に巫女をした他大学の学生とも話した。美術、科学分野など、私と全く違う進路を考えている人との会話はとても刺激になった。

月間報告書 2022年1月分

学籍番号 留学先 ペルージャ外国人大学
 氏名 留学期間 2021/08/01~2022/09/19
 年次 4年次 留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	Intermediodisecondolivel1odiilinguaseculturaitaliana livello(b2)competenza linguistiche di base	イタリア語文法	1680	授業
2	Intermediodisecondolivel1odiilinguaseculturaitaliana livello(b2)sviluppo delle abilità	イタリア語演習	960	授業
3	Intermediodisecondolivel1odiilinguaseculturaitaliana livello(b2)pronuncia e grafia	イタリア語発音	240	授業

II. 授業内容

No. 1

クラスはB2.1

先生が共有してくれる教材を用いて文法を学ぶ

遠過去を学んだ。

月の最後に会話テストがあった。B1のとときと同じく二人の女の子の人がゴンドラに乗っている写真を見せられ、説明した後将来なんの仕事をしたか聞かれた。

オンライン授業を4か月も受けてきたのに全然うまく話せず落ち込んだ。考えながらダラダラ話してしまった。なんだか先月の方が自信を持って話していた気がする(スピーキング力落ちたかも、?)。原因としては「会話」を中心に添えた授業が少なかった、私自身が進んで発言することが少なかった、それによる先生との関係構築が十分ではなかったことが挙げられると思う。それによって無駄に緊張してしまった。

昼に気になる企業の口コミサイトを見ていたのだが悪いコメントばかりが目について気分はブルーだった。就活解禁が近いという焦りと将来への不安が定期的に押し寄せる。それによってイタリア語の勉強も進まず一日が終わるという負のループ、

学校が春休みに入ってしまったから本格的に他人との関りがなくなった。一度考え始めてしまうと気分転換がなかなか難しい。この悩んでる時間が勿体ないと気持ちを切り替えて乗り切ろうと思う。

この月は少し特殊で一日の授業時間が3~4時間と長くなる代わりに水曜日が全休だった。今までが毎日2時間だったこともあり長時間画面を見続けることや座り続けることで疲労も大きかった。四時間授業の終盤はみんな疲れてかなり口数が減る(笑)

学校からお知らせが来ていた企業の1dayインターンに行った。その企業は基本的に採用活動は私が帰国する8月までに終わってしまうそうだが辞退者がいるともう少し続けるそう。3月に対面参加必須の説明会があり、私は選考に参加できないが念の為採用担当の方の連絡先を教えて頂いた。

大阪領事館のHPにビザ申請書類のチェック表があるが、そこに書いていない書類も求められることがあるらしいので情報収集が必要だ。私はアドマーニというイタリア留学エージェントの情報を見て用意した(書類の記入例が載っていて分かりやすい)。

No. 2

グループワークが好きな先生でよく2、3人のグループに分かれてお題について話し合ったりした。クラスメイトとの交流がないオンライン授業での唯一の交流の場でもあった

No. 3

イントネーションによって意味が変わる言葉について勉強した

III. 生活編

月間報告書入力ページに直接書き込み、登録ボタンを押すとセッションが切れたと表示された。嫌な予感がして戻ってみると数時間かけて書いた報告欄が白紙に戻っていた。。。

事の流れを文章で説明するのは疲れたので箇条書きのような感じで書かせていただく。

1/12 住居証明書のフォーマットをpdfで送る

1/22 記入された住居証明書(※1)と大家さんの身分証のpdfを受け取る

住居証明書の原本をEMS(Express Mail Service)という国際速達サービスで送ってほしいと依頼

1/27 ビザ申請希望日を領事館にメール(※2)、2/8に決まる

2/4 住民票と戸籍謄本入手(※3)

2/6 住居証明書原本が届く(※4)

2/8 ビザ申請(※5)

2/10 ビザ付きパスポートが届く

※1→住居証明書を依頼した時点で航空券をまだ取得していなかった為出発日、帰国日を書いてもらうことができなかった。そこだけ空欄で送ってもらい、その後私が書いた。

※2→ビザ申請の予約は基本オンラインからすることになっているがなぜかそれができなかった(同時出発4人全員)。領事館に電話すると、ではメールで予約してくださいとのこと。かなり焦ったので予約システム使えないなら初めからそう書いておいて欲しい、

※3→窓口で戸籍謄本は本籍のある市役所でしか発行できないと言われ、その足で父の実家がある市まで片道2時間かけて取りに行った。時間に余裕を持って郵送サービスを利用することをお勧めする。

※4→私は運よく住居証明書の原本がビザ申請前に届いたが、どうしても原本の持参が難しい場合はpdfを印刷したものでも対応可とのこと。

※5→ネットでよく見かける「イタリア領事館のおばちゃん」は確かに無愛想だったがちゃんと書類をそろえて持っていくと特に何の問題もない。ビザの申請料金は何も求められなかった。

航空券は直行便がなく、他国のコロナに際する入国基準等が分からなかったのでJTBに頼んだ。私含め同時出発4人で便を一緒にしてもらった。

出発日: 2月24日、経路: 関西国際空港→ドバイ国際空港→フィウミチーノ空港(ローマ)

月間報告書 2022年1月分

学籍番号

留学先 ペルージャ外国人大学

氏名

留学期間 2021/08/01～2022/09/19

年次 4年次

留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

航空券をJTBに頼む場合や保険証書についてはあまり心配しなくてもよいかと思う。さすが社会人、さすが日本人。仕事が早かった。ただ保険証書は出発、帰国日程が決まらないと発行できない。先にチケットを取る方がよいと思う。

月間報告書 2022年2月分

学籍番号 留学先 ペルージャ外国人大学
 氏名 留学期間 2021/08/01~2022/09/19
 年次 4年次 留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	Intermediodisecondolivel1odiilinguisculturaitalianalivello(b2)competenza linguistiche di base	イタリア語文法	1680	授業
2	Intermediodisecondolivel1odiilinguisculturaitalianalivello(b2)sviluppo delle abilita	イタリア語演習	960	授業
3	Intermediodisecondolivel1odiilinguisculturaitalianalivello(b2)pronuncia e grafia	イタリア語発音	240	授業

II. 授業内容

No. 1

コースはB2.2 勉強したのは受動態(venire, andare+過去分詞 等)、条件法過去、関係詞

(il quale, il che, quello che 等)

受動態、や関係代名詞、と聞くともうそんなの京都外大の授業で勉強したよ!と思ったがいざ問題を解いてみると特殊な意味や細かい文法をかなり忘れていた。

2月は1月と打って代わり、人が一気に少なくなった。私含め6人。アメリカ、オランダ、スペイン、コロンビア、カナダの人がいた。うちカナダ人の人はほとんど授業に参加していなかったので実質5人。

ほぼ全員二か月目のメンバーだったのでリラックスして受けられた。

うち50歳くらい(?)のスペイン人の女性弁護士の人と教科書の写真を送ってもらったのをきっかけに授業後に個人チャットで互いの文化や町について話した。ラインも交換した笑(このためにアカウント作ったらしい)「ヨーロッパのマンマ」と呼ばせて頂いている。

ペルージャ外国人大学のオンライン授業は最小実施人数が5人らしいが、今月実質5人で私が抜けると4人。授業ができなくなる。他のクラスメイト(みんな大人の人で、働きながら勉強している)は他にオンラインのイタリア語コースを実施している大学はあるか聞いていた。

五か月間今までオンライン授業を受けてきたがイタリア語の面ではかなり成長があったと思う。最初は簡単な単語が出てくるのも文を言うのも時間がかかったし先生の言うことを理解するのに必死だったが今は世間話くらいなら楽しんでできる。初期のノートに書き込んだ分からない単語も今ではほとんど分かる。

この五か月は自分が今までイタリア語を勉強してきた中で一番挫折も努力も、成長も多かった時期だと思う(対面で留学して記録が更新されるかもしれないが、)。イタリアへの出発を予定していた2021年4月に新型コロナウイルスの影響で渡航できず、出発を9月にしたものやほりできず、10月からオンライン留学を選んだ。日本にいることで未練のあった世界遺産検定も一級を受験、取得することができたし、ずっとやってみたかった正月の巫女さんもすることができた。自分ができる選択としては最善の道を選んだと思っているし結果的に良かったと思っている。

実際対面の授業も受けてみて、イタリアにいないという点とクラスメイトと仲良くなりにくいという点はかなり違うなど感じた。週末に旅行に行けたり、パールに行けたり、楽しいことはたくさんある。しかしイタリア語力の伸びについては本当にオンラインもあまり変わらないと思っている。

オンラインの可能性を感じた期間でもあった。

東城先生からのお誘いで、先生が高校生に日本語を教えている授業にオンラインで出席させてもらった。イタリア時間で15時からの授業なので日本だと23時、日本語とイタリア語で自己紹介をした。初回だったので授業をするというより授業の説明だった。日本にいながらイタリア人と同じ授業を受けているのだという感覚が非常におもしろかった。

これから半年日本を離れるということで歯医者、美容院、皮膚科に行った。皮膚科は出発の日の朝に行ったのもっと余裕をもって来いと先生に言われた、

それに加え私は大学一年の時に自動車免許を取得していたので免許の初回更新があった。はがきが届くまで完全に忘れていたが、更新を忘れると免許取り直しにもなりかねない。気づけて良かった。

No. 2

コースはB2.2 勉強したのは受動態(venire, andare+過去分詞 等)、条件法過去、関係詞

(il quale, il che, quello che 等)

受動態、や関係代名詞、と聞くともうそんなの京都外大の授業で勉強したよ!と思ったがいざ問題を解いてみると特殊な意味や細かい文法をかなり忘れていた。

関西空港からローマまでは先月書いたとうりのルートだが、ローマからペルージャまでは東城先生がチャーターバスを手配してくれた。料金は一緒に行った同じ京都外大の人と割り勘して一人70ユーロだった。

ペルージャの最初のイメージは「ユニバみたい!」だった。石造りの映画で見た素敵な空間に自分がいるのはあまり実感が湧かなかった。ただ思っていたイメージの五倍は田舎だったのと20倍坂が多くてしんどい。チェントロが丘の上にあるので何かしら出かけるにしても坂に出くわす。最初の数日は坂がしんどいわ寒いわでほんとうに外に出たくなかった。

家の前まで行くと大家さんがいて、部屋を説明してくれた。驚いたのは、大家さんが日本語を少し話せたことだ。44歳くらいだということだが、私の生まれる前から日本語を勉強しているらしいし日本に行ったこともあるらしい。聞いたところかなりいろんな町に行っていた。家の暮らしに問題はないかかなり気にかけてくれるし、東城先生とつながりもあるので安心要素にはなる。

そしてこれはおそらくペルージャのどこの家にも言えることだが、とにかく家がオシャレ。かわいい。白い壁と木の梁のコントラスト、ちらりと見えるレンガ、すばらしい。ずっと長期滞在用のホテルに泊まっている気分だ。加えて私の家はキッチンやソファがある一階部分とベッドのある二階部分があり、一人で住むにはわりと広い方だと思う。玄関のドアを開けるとすぐ道があるところが不安だったが、町を歩いているとそんな家もよくあるのもうこれでもいいやと思うようになってきた。

暖房はないよりまし、というだけであって全然寒いので家の中でも常にダウンを着ている。

着いてからはSIMを買ったり、滞在許可証を書いたり、ワクチンを接種してグリーンパス(ワクチン接種証明書)を取得したり、もうやることが沢山あった。

※グリーンパスがないと学校やレストラン、列車も使えない

グリーンパスにおいては接種してから6か月以内でないといけないのだが、私は3月7日その6か月目でかなりひやひやしていた。東城先生と先に到着していた東京外大の人の協力によりかなりスムーズに進んだ。

No. 3

月間報告書 2022年2月分

学籍番号
氏名
年次 4年次

留学先 ペルージャ外国人大学
留学期間 2021/08/01~2022/09/19
留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

最初にイントネーションだけ違う会話の返事の音声聞いて、どんなニュアンスなのかを選ぶ。そんなに難しくない。

III. 生活編

イタリアで使うカードの情報の整理もした。元々カードはVISAが2枚、アメリカンエクスプレスが1枚あったがどれも海外のATMで現金を引き出せるものではなかった。

家賃を現金でしか払えない場合があるということを聞いていたので念のため学校の渡航前オリエンテーションで紹介されたカードを作った。(これは本当に作ってよかった。私の家の大家さんも京都外大の先輩方が代々住んできた部屋の大家さんも現金払いだった。)

よく使うスーパーの1つではなんとカード4枚中1枚しか使えなかった!!使えたのは出発ぎりぎり作ったカードだ。

基本的にはカードで払っているが屋台で何か買う時や友達と割り勘する時など、案外現金も使う。

イタリアに持って行って良かったもの

- ・百均の小さい箱→部屋の鍵や塗り薬など、よく使うが小さいものを置くのに便利
- ・百均の歯ブラシ立て→歯ブラシを横にして置くより気持ちがいい
- ・百均の便座シート→あったか便座なんてあったもんじゃない。便器冷たすぎて冬は家のトイレ行きたくなくなる
- ・百均のダニ取りシート→過去に海外の家で大量の布団のダニに刺されてからは必需品。心の安定剤。
- ・百均のコップ→歯磨き用と飲み物用。どちらも案外ない。あってもかなり汚い。
- ・茶碗→家の木の味噌汁茶碗を持って行った。スープを飲む皿が案外ない。全部平たい。
- ・醤油→これ入れとけばなんでも和風
- ・除菌シート→コロナ対策というものもあるが入居したての家はテーブルや椅子がほこりで汚いのでささと拭けて楽
- ・はさみ→何かという
- ・スリッパ→部屋を土足で歩き回りたくなかったら必要。楽。
- ・イタリア語のABC→授業ではイタリア語の文法をイタリア語で勉強する。先生の説明がよく理解できなかった時に助けになるはずだ
- ・色んな薬→腹痛、風邪薬、花粉症の薬、生理痛の薬、目薬等を持ってきた。今のところ花粉症の薬が一番減っている。
- ・エコバッグ→日本のようにレジ袋にお金があるのでとよい

持っていったらよかったと思うもの

- ・体温計→このコロナのご時世なので熱っぽいかもしれないと思ったときに測れるのはつよい。

持っていったけど別にいらなかったもの

- ・たこ焼き器→半分ネタで持って行った。電圧の違いを全く考えておらず、鉄板を熱する部分から火花が出た為お別れした。ドライヤーを持って行って熱くなりすぎて使えなかった友達もいるので、充電器以外の電気製品を持って行く際は注意が必要。

月間報告書 2022年3月分

学籍番号 留学先 ペルージャ外国人大学
 氏名 留学期間 2021/08/01~2022/09/19
 年次 4年次 留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	Intermediodiscondolivel1odiilinguaseculturaitaliana livello(b2)competenza linguistiche di base	イタリア語文法	2880	授業
2	Intermediodiscondolivel1odiilinguaseculturaitaliana livello(b2)sviluppo delle abilità	イタリア語演習	960	授業
3	Intermediodiscondolivel1odiilinguaseculturaitaliana livello(b2)pronuncia e grafia	イタリア語発音	480	授業

II. 授業内容

No. 1

コースはB2.3。B2最後のクラスだ。

これといった特定の文法を勉強したというより、今まで習った文法の総復習を1か月かけて行った。本がこれと決まっているわけではなく、先生が毎回教室前方にあるスクリーンに問題を映してくれる。宿題はクラスのラインで送られる。

最後のコース終了テストでは今までとは違い、お喋りだけでなく3問ほど文法の問題(diretto, indiretto と ipotesia)を口頭で解いた。テストについては授業をきちんと受けていれば全然心配する必要はないと思う。

クラスは日本3人、中国3人、ボスニアヘルツェゴビナ3人、パレスチナ2人、リビア、ドイツ、ベネズエラの14人だった。

日本人は京都外大から同じタイミングで来た同級生と、去年の9月辺りからいる東京外大の人だ。東京外大の人は、授業で毎回一番最初に発言していてすごいと思った。私もそうしたいところだがなんせ私が答えを思いついた時にはもう次の問題に移っているのだ。

恐らくB2.3も私にとって難しいレベルであることに変わりはないが、イタリア語聞き流しスキルの上達により精神への負担が減っている為あまり落ち込んだりなどはなかった。

驚いたのは、オンラインでクラスが一緒だった人がいたことだ。中国人3人とボスニア3人。特に中国人の人たちは4か月ぶりだったが、名前も覚えてくれていた。オンラインで出会った人と現実で会うのは不思議な気分だ。

休み時間での会話、というのも私にとっては新鮮で(勿論オンラインではなかった)ので晴れの日学校の屋上の日当たりの良い所で日光浴しながらクラスメイトと雑談した。

毎週金曜日、午後3時からの日本語クラスにも参加した。来ている高校生が語学高校の生徒だけあつて非常にみんな日本人に興味を持って来ていた。

先生が授業に来れない日はみんなで映画館に行ったりもした。

語学高校ではドイツ語やフランス語(勿論英語も)を選択して学んでいるらしい。高校生の子はとても早く話すがお喋りするのとはとても楽しかった。

3月の最初の方はリゾットや味噌汁、野菜炒め等の自炊を頑張っていたが、途中で力尽きてずっとパスタに変わった。パスタは安い(1€くらい)簡単にすぐ作れるので非常に重宝する。しかし最近になってあまりにも三食パスタすぎて健康が心配になってきた。。

今回の受験からイタリア語検定が準二級までオンラインで受けられるようになったらしい。私としては有難い話で、イタリアから準二級を受けてみた。受かっているといいが、、、

友達と芝生に座ってガラガラしている時にアメリカ人の人が無料英会話、と書いたビラを渡してきた。

何か、人との繋がりが欲しかった私は後日その人に連絡し、カフェでミズーリ州から来た大学生2人と英語で(彼らはイタリア語を話せない)で話した。

彼らはアメリカ、イタリアの教会間の交換旅行のようなもので来ているらしく、今回は1週間のみ滞りだが5月にまた来た後2ヶ月ほどペルージャに滞在するらしい。

その後彼らは帰ったが、彼らの通っていた教会と一緒に昼ごはんを食べないかとビラを渡してきたアメリカ人に誘われた。

いざ行ってみると教会というより普通のモダンな建物だったが、様々な人がBenvenuta!と歓迎してくれて嬉しかった。ミサの時にパンとワインを飲んだり、パスタを食べながらパンを食べたり、今まで私はイタリア人の人と深く関わりを持ったことがなかったので教会で見ること聞くこと全てが新鮮だ。また、私にとって貴重なイタリア人と話す機会だ。丁度卒論もキリスト教関係について書こうと思っていたし、聖書等の本も4冊貰ったので早速勉強してみようと思う。

郷に入っては郷に従えではないが、どうせ週末は特に予定もないのでこれからも通ってみようと思う。

No. 2

イタリア語の音楽を歌詞を見ながら聞いたりした。先生がお喋りな人で、授業の半分がみんなとの会話で潰れることがあった。

一度「日本について教えて」と言われたことがあり、茶道についてや日本人が食事の際あまり喋らないことについて聞かれたが上手く答えられなかった。

No. 3

イヤホンをつけてCELIのB2のリスニング問題を解いた。かなりスピードが速く、B1より全然難しかった。正直結構自分の築き上げてきた自信が削がれた。(笑)

III. 生活編

旅行

・アッシジ

電車で20分。片道3€。非常に近い行きやすい。ペルージャ駅まではチェントロから少し距離があるが徒歩でもミニメトロでも可能。

・フィレンツェ

京都外大の同級生で、休学してフィレンツェの語学学校に通っている友達に元クラスメイト3人で会いに行った。本当に「あの」フィレンツェがそこにあった。サンタマリアノヴェッラ薬局やウフィツィ美術館、ポーボリ庭園に行った。

・ナポリ

月間報告書 2022年3月分

学籍番号	留学先	ペルージャ外国人大学
氏名	留学期間	2021/08/01~2022/09/19
年次 4年次	留学区分	派遣留学

I. 受講時間数

3月は学校が早く終わり、4月は遅くから始まるということで1週間弱の休みがあった。

京都外大の1学年下の人と一緒に3泊4日でナポリ、ポンペイ、カプリ島に行った。

基本遠くに行くときはFLIX BUSが安い。しかしギリギリに予定を立てた為席がもう埋まっており、9時間かけて電車で向かった。

正直4日中3日は雨が降ったり止んだりだったが言うまでもなくどの場所も魅力的だった。

ただし。ただし。宿から帰りのバスに向かう途中、少しリュックが動いた気がして後ろを振り向こうとすると若めの兄ちゃんが「Scusa!」と言って去っていった。リュックのチャックが開いていた。幸い貴重品は前のポーチに入れていたし入っていたのは服のみだったので何も盗られなかったが驚きのあまり3分くらい頭が真っ白だった。

恐らくトボトボ歩いていたということと、リュックのチャックが上の方にあっただことが原因だと思う。その後イタリア人の人にこのことを話すとまず大きな荷物を持って歩くなど、後ろに荷物を持ってくるなど言われた。

ナポリではとにかくアジア人は目立つ(夏はどうか知らないが、)。少なくとも1日に2回は冷やかしの様なことを言われたので気を付けるに越したことはないだろう。

治安が悪いとネットに書いていたガリバルディ駅周辺は確かにホームレスが沢山いた。夜はどの通りも暗くなると女の人がガクッといなくなって非常に怖い。

散々ナポリを下げたので付け加えておくと、やはりピザは安くて美味しい。5€でとても大きいマルゲリータがくる。Pizza Fritta (揚げピザ)も美味しかったしコーヒーもペルージャのより濃いし海鮮(私はボンゴレパスタを食べた)も物凄く美味しい。昼は普通に楽しく観光ができる。スバッカナポリはお土産が沢山あって楽しい。Airbnbの家族の方が方言を話していて南部にいるなど実感した。

月間報告書 2022年4月分

学籍番号

留学先 ペルージャ外国人大学

氏名

留学期間 2021/08/01~2022/09/19

年次 4年次

留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	Avanzatodiprimolivellodi(C1.1)linguaculturaitalianalivello(c1)competenze linguistiche avanzate	イタリア語演習上級	2160	授業
2	Avanzatodiprimolivellodi(C1.1)linguaculturaitalianalivello(c1)Fonetica	音声学	480	授業
3	Avanzatodiprimolivellodi(C1.1)linguaculturaitalianalivello(c1)Laboratorio testuale	演習	960	授業
4	storia della musica	音楽の歴史	720	授業
5	storia dell'arte italiana	美術の歴史	720	授業

II. 授業内容

No. 1

コースはC1.1。ついにC1まで来た。

C1の修了試験を受けるには通常のcorso di linguaに加えてcorso di culturaという何個かある授業から最低二つ選んで受けなければならない。私はstoria dell'arteとstoria della musica という授業を取った

クラスは約14人。中国人4人、日本人2人とその他もろもろだ。アジア人は皆交換留学生だった。

この授業は先生が今まで勉強してきた文法で分からないところがあるかを聞き、それをひたすら説明するというものだった。ユーモアのある先生で楽しかった。

No. 2

Pallaとpalaで言葉を伸ばすかどうかで意味が変わるということ勉強した。

No. 3

基本的に長文を読んで問題を解いた。難しかった。

No. 4

先生が弾くピアノやオペラ映画を鑑賞する。クラシック音楽が好きになった。

No. 5

アンドレア・マンテンニャという画家の作品について勉強した。私は今まで美術史の知識が皆無だったのでかなり難しく感じた。

同じ生徒でもヨーロッパ人とアジア人の理解度の差があり、なかなか苦戦している。

III. 生活編

今月は特に遠くへの旅行などには行かなかった。その代わりにクラスメイト数人とアッシジへ小旅行をした。そのうち1人がフランチェスコ会修道士見習いだったので、アッシジの街についても教えてもらった。

4月17日はバスクアの日曜日ということで、教会で出会った1歳の赤ちゃんがいる家族の昼ごはんに招待してもらった。家にはおじいちゃんおばあちゃん、ひいおじいちゃんおばあちゃんもいて、みんなで机を囲んで食べた。

ひいおばあちゃんお手製のタリアテッレは美味しかった。

4月になって去年の11月に受けたCELIの結果がやっと出た。合格だった。わりとギリギリではあった。オンライン出うけたイタリア語検定の準2級も受かっていたので一安心だ。

CELIは6月にB2を受けようと思う。それに備えてとりあえず本を買った。ペルージャ外国人大学の生徒は割引があるらしい。そちらの勉強も頑張りたい。

私は現在一人暮らしをしているのだが、3月分の光熱費が122ユーロもしてしまった。現在ヨーロッパの電気代が上がっているとは聞いていたがここまでとは。。。4月は電気代節約を意識していこうと思う。

月間報告書 2022年5月分

学籍番号

留学先 ペルージャ外国人大学

氏名

留学期間 2021/08/01~2022/09/19

年次 4年次

留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	Avanzatodiprimolivellodi(C1.2)linguaculturaitalianalivello(c1)competenze linguistiche avanzate	イタリア語演習上級	2160	授業
2	Avanzatodiprimolivellodi(C1.2)linguaculturaitalianalivello(c1)Fonetica	音声学	480	授業
3	Avanzatodiprimolivellodi(C1.2)linguaculturaitalianalivello(c1)Laboratorio testuale	イタリア語演習	960	授業
4	storia della musica	音楽の歴史	720	授業
5	storia dell'arte italiana	美術の歴史	720	授業

II. 授業内容

No. 1

コースはC1.2。イギリス人の大学で社会学を教えている人が新しく加わった。全員で14人。

先生が印刷してくる問題を解く。長文で動詞だけ原形になっていてそれを正しい時制に直すというものが多い。

No. 2

専用の教室でマイクに向かって聞こえてくる音声を繰り返す。その後録音された自分の声だけを聞きなおして発音を確認する。

No. 3

先生が持ってくる長文のプリントを読み、形容詞などの語彙力を増やす。

垣間見る、ささやく、横目でチラチラ見る、など様々な言い回しを習得して会話の幅を広げたいと思う。

No. 4

貴族の依頼で曲を書いた作曲家について勉強した。

ヴィヴァルディの「四季」についても勉強した。

アジアの音楽ということで日本の「ふじの山」を先生がピアノで弾いてくれて、日本が懐かしくなった。

No. 5

レオナルドダビンチについて勉強した。最後の晩餐について深く知れた。また、そのために日本語訳の聖書が読めるアプリをダウンロードして読み始めた。

III. 生活編

学校の掲示板でコーラス、演劇グループのポスターを見て通い始めた。

コーラスはペルージャ外国人大学の在学、卒業生で構成されていて週2回1時間半パートに分かれて歌を歌う。私はソプラノ。教会音楽ばかりかと思ったが最近っぽい曲も歌う。

人数は私を含め約7人。半数が卒業生の社会人だ。イタリア人は2人。日本人2人。後は様々。多いときは40人ほどいたらしいがコロナでみんな帰ってしまったらしい。コーラスはゼロからの初心者だが頑張ろうと思う。

毎週水曜日のコーラス終わりに数人でイギリス人の人の家で夜中までカードゲームをしている。その人はカードゲームの事業を立ち上げたいらしく、かなりの種類を持っている。一度私が日本から持って行った花札と坊主めくりでもあそんだ。

演劇は外部のグループで学校から20分ほどのスペースで行われている。

人数は約40人で半数がイタリア人、外国人はパキスタン出身の人が多い。こちらも半数ほどが社会人だ。私は演劇も初心者だったが大きく体を使う練習や体で表現するとは何か、といった基本的なことが多く安心した。

ただこちらは一週間で行かなくなってしまった。。というのも練習が週3回あることに加え毎回夜の11時頃に終わるので寝るのが遅くなり、次の日の授業での睡魔がすごかった為だ。私の場合もう長く運動をしていなかったのもより疲れやすかったのかもしれない。久しぶりに筋肉痛になった

月間報告書 2022年6月分

学籍番号 留学先 ペルージャ外国人大学
 氏名 留学期間 2021/08/01~2022/09/19
 年次 4年次 留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	Avanzatodiprimolivello(C1.3)linguaculturaitalianalivello(c1)competenze linguistiche avanzate	イタリア語演習上級	2160	授業
2	Avanzatodiprimolivello(C1.3)linguaculturaitalianalivello(c1)Fonetica	音声学	480	授業
3	Avanzatodiprimolivello(C1.3)linguaculturaitalianalivello(c1)Laboratorio testuale	イタリア語演習	960	授業
4	storia della musica	音楽の歴史	720	授業
5	storia dell'arte italiana	美術の歴史	720	授業

II. 授業内容

No. 1

コースはC1.3。人は特に変わらず。

解く問題もさして変わらない。イタリアのことわざ、慣用句、文化についての穴埋め問題もした。

No. 2

似た発音の違い等について学んだ。月末の修了テストで発音記号を書くという問題がでて、あまり覚えていなかったのが苦労した。幸い試験前最後の授業で先生が模擬試験を行ってくれ、それに沿って勉強したので私は合格することができたが不合格の人も2人ほどいた。

No. 3

こちらも先月と変わらず本文を読み、形容詞等の語彙力を増やすもの。

相変わらず私にとっては難しかった。。。

No. 4

オペラの映画を観たり、先生がランダムで選んでピアノで弾く曲を聴いたりした。

オペラに関しては二作観のうち二つとも悲劇的な終わり方をしたので非常に心が締め付けられた。まだバッドエンド作品の良さを分かるには時間がかかりそうだ。。。

試験は1分以内で終わった。少し前に私が参加している大学のコーラスの発表会があったので感想を尋ねられた。あんな大勢の前で歌うのは初めてだったが楽しかったと言ったら満点がついた(笑)

No. 5

ペルジーノとその師匠、アンドレア・ヴェロッキの類似点や同年代に発達した町ウルビーノ、マントヴァについて勉強した。

試験はこの三か月で勉強した画家の中から好きな人を選んで10~15分のPPTを作って発表する、というものだった。私は7月1日からウンブリア国立美術館が開館するというので展示作品が沢山あるペルジーノを選んだ。

いざ調べて勉強してみると楽しかったがPPTを作り始めるまでの気がかなり重かった。。楽をしたい人なら文化コースはarte della paloraという発音の細かな点を学ぶ授業とstoria dell'arteがおすすだ。

III. 生活編

6月はとにかく可能な限り遊んだ。月の初め頃、3月に英会話で話したミズーリ州の大学生が友達を連れて20人ほどでやってきた。そして三日に一回くらいのペースでホームパーティーや遊びに誘ってくれた。

それに加えC1も3か月目、最後の月ということでクラスメイトとの外出も増えた。

そして自分の中でも印象的だったのは1か月だけバカンスも込みで大学に来ていたクラスのフランス人だ。彼は政治や歴史に興味があるようで、明治天皇や満州について聞かれたり世界の問題(ロシア・ウクライナ、中国・台湾)について話したりもした。国によって同じ問題でも捉え方が違うのが興味深かった。私は自分では歴史は知っている方だと思っていたがまだまだ全然分かっていなかったのだなと実感した。また、今まで外国語で難しい話題について話したことがなかったので自分もできるんだという自信にも繋がった。

月の最後には私の家で小さなお茶会をした。大学で茶道をしていたことから軽く道具は持って来ていたが、とても喜んでもらえて嬉しかった。

C1の終了テストを受けたが受からなかった。個人的にはかなり難しいテストだったと思う。13人ほどが受けて3人ほどしか受からなかった。

月間報告書 2022年7月分

学籍番号 留学先 ペルージャ外国人大学
 氏名 留学期間 2021/08/01~2022/09/19
 年次 4年次 留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	Avanzatodiprimolivellodi(C1.3)linguaseculturaitalianalivello(c1)competenze linguistiche avanzate	イタリア語演習上級	2160	授業
2	Avanzatodiprimolivellodi(C1.3)linguaseculturaitalianalivello(c1)Fonetica	音声学	480	授業
3	Avanzatodiprimolivellodi(C1.3)linguaseculturaitalianalivello(c1)Laboratorio testuale	イタリア語演習	960	授業
4	storia della musica	音楽の歴史	720	授業
5	storia dell'arte italiana	美術の歴史	720	授業

II. 授業内容

No. 1

コースはC1.3。初めの一週間はC2.1だったが分からない単語が授業中で多すぎたのでC1.1にクラスを変えた。
 教科書を中心に文を読み、ペアで問題を解いたりした。

No. 2

発音記号を書く練習の一環で自分の国の早口言葉を書くというものがあった。私は「東京特許許可局」と書いた。

No. 3

音声を聞いてペアで内容を話し合うというものだったが、ほとんど分からなくて落ち込んだ。。自由に発言できる機会にできるだけ発言できるよう努めた。

No. 4

チャイコフスキーがイタリアに来て作った曲を聴いた。この数か月間で長年忘れていた音楽愛のようなものを思い出させられた気がする。クラシック音楽をゆっくり聴くのもいいものだ。

No. 5

システーナ礼拝堂の壁画について勉強した。私が先月試験の題材として選んだペルジーノが描いたものもあり、いつか行ってみたい場所の一つになった。
 この授業を通して宗教画を見るのが楽しくなった。取ってよかったと思う。

III. 生活編

7月は最後の月ではあったが、クラスが変わったことで新しい出会いも多かった。

モンテネグロ人、スロバキア人、ウクライナ人等自分のよく知らない地域の人と話すのも非常に刺激になった。

特にウクライナ人の人は戦争から避難で来ていたので、この問題はテレビの向こうで起きていることなのではなく、実際にこうやって人を苦しめているんだと感じた。

月の最後にもう一度C1の終了テストを受けたがまた落ちてしまった。点数は30点中13点。18点で合格だ。しかし先月の点数はおそらく3か4点(詳しい点数を教えてもらえなかった)だったのでかなり伸びた方だと思う。

T先生の大きな助けもあり、Nocera Umbraというウンブリアの町で茶道を披露するイベントを開催した。現地でT先生から日本語を勉強している高校生と、その先生が知り合いや町の人を40人ほど集めて下さった。ギリギリまで参加人数や開催場所が全く分からなかったり、当日に知らないバイオリニストが来て演奏したりとイレギュラーなことばかりだった。しかし向こうの方なりの歓迎の気持ちや日本への興味を肌で感じられていい経験になった。

私のイタリア語力の伸びについてはこの5か月で勿論伸びたと思う。しかし紙のテストの点数が非常に伸びた、というよりは自分の知っている単語や表現を会話でスムーズにアウトプットする能力が伸びた感じがする。実際、6月に受けたCELI, B2レベルの結果はスピーキングとリスニングだけ合格で、後のリーディングとライティングは落ちていた。。

ただ、この留学はこれからの人生におけるイタリア語学習の大きなモチベーションになったいい友達にも出会えた(正直この留学で得た一番大きいものは友達だと思っている)。

異なる文化や価値観の人たちと共に勉強する中で、自分の人生観も大きく変わった。恐らく留学に行く前の自分と今の自分は少し、根元が違う人間になったのではないだろうか。

イタリアに住む日本人の方とも話したりして、人生は思ったより様々な生き方ができるのだなと思った。もしこれから自分が人と同じような生き方をしたとしても、他の選択肢を知っているだけで「自分は数ある中からあえてこの道を選んだんだ。」と自信を持って進んでいける気がする。

また語学の話に戻ると、この秋にイタリア語検定の2級を受けるつもりだ。卒業するまでの最後のイタ検なので合格して終われたら、と思う。